

日本社会分析学会 ニュースレター

2021年4号[2021年11月30日発行]

発行：日本社会分析学会事務局
〒753-8511 山口市吉田1677-1
山口大学人文学部 桑畑研究室内
編集責任者：桑畑 洋一郎(事務局長)

Tel:083-933-5242(直通)
E-mail: sasa@jsasa.org
ホームページ: <http://jsasa.org/>
郵便振替口座:01740-0-49579
(名義)日本社会分析学会

※第142回例会プログラムをお届けします。事務局の不手際で発行が遅くなり申し訳ありません。

●第142回研究例会のご案内

歓迎の言葉

横田 尚俊(山口大学)

12月11・12の両日に、第142回研究例会を山口大学でお引き受けすることになりました。山口大学で研究例会を開催する際の恒例となりましたが、前々回(2012年7月開催の第123回)、前回(2018年7月開催の第135回)に続き、今回も山口地域社会学会との合同研究例会とさせていただきます。

当学会の概要については、上記研究例会開催時のニュースレターにも記しておりますが、改めて簡単に紹介いたします。山口地域社会学会は、2002年10月に発足した小さな学会です。現在、会員数は50名足らずですが、大学の研究者のみならず、市民活動団体関係者などもメンバーとなり、地域の現状と地域社会が抱える課題の分析をめざして、年2回(前回までで通算50回)の研究例会開催と学術雑誌『やまぐち地域社会研究』(昨年度で第18号)の刊行を二本の柱として、活動を続けています。会員の所属、研究対象は山口県内に限定されておらず、当学会の活動に参加していただいている県外在住の日本社会分析学会会員も少なくありません。興味をおもちの方がおられましたら、ぜひこちらへの入会もご検討下さい。

最後に、新型コロナウイルス感染症拡大以降の、山口大学の現状について簡単に触れておきます。

本学では、昨年度前期の終盤から、感染防止策をとるという条件付きで、一部対面授業が解禁されました。後期以降はその数も大幅に増え、今年度は、これまでのところほぼ全面的に対面授業(オンラインとのハイブリッド形式も含む)が実施されています。昨年度、今年度と、人文学部社会学コースの調査実習や卒業論文作成などにおいても、学生たちはコロナ以前とほぼ変わらぬ形で社会調査を実践しています。

また、授業以外の課外活動における活動制限もかなり緩和され、現在は「4人までの少人数の会食」なら可となっています。とはいうものの、昨年来、コース・研究室でのコンパや飲食をともなう交流ができないまま今日に至っています。

「刺激に乏しい田舎だ」と自嘲気味に語られることの多い山口県ではありますが、むしろそうであるがゆえに、感染防止に一定の注意をはらいさえすれば、比較的早く大学を「平常」に戻すことも可能だったといえましょう。

今回の研究例会も、対面とオンラインとのハイブリッド方式となりますが、この文章の執筆時点では、国内の感染状況は大幅に改善しています。海外での感染拡大状況を見ると、決して油断することはできないものの、山口へ直接足を運ばれる場合には、湯田温泉のお湯でこの2年ほどのコロナ疲れを洗い流すというのも一興ではないでしょうか。むろん、対面かオンラインかにかかわらず、山口大学に所属する会員スタッフ一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

★ 第 142 回 日本社会分析学会例会プログラム ★

日程:2020年12月11日(土)~12日(日)

会場:山口大学人文学部(小講義室)

(山口県山口市吉田 1677-1)

※山口地域社会学会様との共催となっております。

※持ち時間は**30分**(報告20分質疑10分)です。対面の場合、レジュメや資料は30部程度ご準備ください。会場では報告にてプロジェクターが使えます。Zoomに対応できるPCを各自ご持参ください。

※例会会場での対面とオンライン配信を組み合わせで行います。ただし当日、配信に十分な通信環境とない可能性があることもご理解ください。なお、今後のCOVID-19の感染拡大状況次第では例会開催方法の変更等が生じる可能性もございます。事務局からの連絡にご注意ください。

※報告者の方は、オンライン配信時に共有可能な資料についてもご準備ください(形式はwordでもPDFでもpptでも、一般的なものであれば構いません。事前に事務局と打ち合わせをさせていただきます)。

12月11日(土)

※対面開催+オンライン配信です。オンライン配信はzoomで行いますので、参加される方は各自ご準備をお願いいたします。

※配信URLは<https://us06web.zoom.us/j/85327068700>です。(2日間共通)

開 会 12:40

報告部会I (12:45~14:45)

1.「沖縄社会の非行少年の生活世界と基礎構造—家族と友人を中心として」(s)

(※作田会員のご報告は「社会の変容と暮らしの再生」執筆予定者構想報告となっております)

作田 誠一郎(佛教大学)

2.「熊本地震における避難行動の分析」(s)

三隅 一人(九州大学)

3.「予めの排除／抹消の現象学的社会学に向けて」(s)

松浦 優(九州大学大学院)

4.「高齢者介護施設における、介護ロボットがもたらした影響」(s)——孫 巍(九州大学大学院)(ご報告辞退)

休憩(5分)

報告部会II:山口地域社会学会共催部会 (14:50~16:20)

1.「消えてゆく復讐者:中華圏の「紅衣悪霊」の歴史的変遷について—近現代中華圏のホラー映画を中心に」

于 嘯(山口大学大学院)

2.「山口県の狭域制通信制高校生徒の進路選択と自己意識」

林 寛子(山口大学)

3.「〈子ども会の危機〉はどこからくるのか?—Web アンケートにもとづく考察」

高橋 征仁(山口大学)

12月12日(日)

※対面開催+オンライン配信です。オンライン配信は zoom で行いますので、参加される方は各自ご準備をお願いいたします。

※配信 URL は <https://us06web.zoom.us/j/85327068700> です。(2日間共通)



報告部会III (10:00~11:30)

1.「校則の変遷に関する一考察」(s)

桑畑 洋一郎(山口大学)

2.「高齢者の ICT 利活用意識と社会的ネットワークとの関係—NPO シニアネット福岡への社会調査結果から」(s)

呂 宣萱(九州大学大学院)

3.「音楽活動が生み出す「弱い紐帯」の可能性—箱崎水族館喫茶室の事例から」(s)

梅津 日奈子(九州大学大学院)

閉 会 11:30

会場までの交通案内

●新幹線、山陽本線「新山口駅」から

山口線「湯田温泉駅」で下車、徒歩 25 分。または、新山口駅前から防長バスで「山口大学前」バス停下車、徒歩 3 分。

●山陽本線「防府駅」から

JR バスで「山口大学」下車。

●山口宇部空港から

宇部市営バスで新山口駅へ約 37 分。新山口駅から防長バスで「山口大学前」バス停下車、徒歩 3 分。

学内地図

右図の 12 番が人文学部棟です。



◆会員異動(届出順、敬称略)

●退会

鈴木 玉緒